

活動成果報告書

平成28年度（第20回）「チヨダ地域保健推進賞」

活動テーマ

湯浅町健康づくり大作戦

～健康推進員の養成から健康大学の設立に向けて～

応募グループ名称及び氏名（グループの場合は代表者名）

湯浅町 健康福祉課 保健係

代表者：伊藤 浩子

《 湯浅町健康推進員研修会の様子 》



勤務先：湯浅町役場

所 属：健康福祉課

所在地：〒643-0002

和歌山県有田郡湯浅町青木668-1

TEL：0737-63-2525

FAX：0737-65-3006

◇活動方針

湯浅町では、「健康づくりにむけて住民自ら考え適切な行動をとることができる」ことを目的に成人保健施策を展開している。平成26年度から実施された和歌山県健康推進員養成事業と共同で活動することにより、健康づくり事業をより発展させて住民の幸福に寄与したいと考えている。

経緯 和歌山県では平成26年度より5年間の計画で健康推進員養成事業が開始され、湯浅町でも26年度から毎年12名の健康推進員が養成されている。任期は2年であるが、すでに任期を終了した平成26年度養成講習会受講者のうち10名は残留し健康推進員として活動している。平成30年度まで約50名の健康推進員が誕生することとなる。

湯浅町では健康づくり施策を実施しているものの、特定健診・がん検診の受診率は低い状況にある（表1参照）。平成25年9月健康日本21地方版作成時に実施した住民アンケートによると「健診を受けない理由」の第1位は「なんとなく・わからない」で30.3パーセントあった。これらの者に対するアプローチとして、住民相互の呼びかけは有効ではないかと考えている。

表1. 湯浅町の各がん検診・特定健診受診率（%）

	胃	大腸	肺	子宮	乳房	特定健診
25年度	15.9	19.2	20.2	37.0	29.7	30.4
26年度	13.4	16.2	17.2	22.1	24.4	28.4
27年度	11.3	13.8	13.7	24.6	12	28

活動成果報告書

目的

推進員が地域に根差した健康づくり活動を行うことにより、住民が積極的に健康づくりに参加できる。

目標

- ① 住民および推進員が健康について興味関心を持つことができる。
- ② 住民および推進員が知りたい知識を知り運動や生活習慣の実践ができる。
- ③ 住民および推進員が積極的に特定健診・がん検診を受診して自分の健康状況の確認をし、必要な指導や精密検査を受けることができる。
- ④ 推進員が家族や友人知人にも健康に関する知識等の普及や健診の受診勧奨ができる身近な実践者として育ち、自主活動につなげていくことができる。

方法

- 1) 目標①②③に対する方法としては、身近な実践者として健康推進員が啓蒙啓発を行う。スーパーや健康まつり等での健診受診案内チラシの配布や、健診当日の会場案内を行い、健康推進員の存在自体の周知を行うとともに、推進員各々は自身の家族や友人知人に対して受診勧奨を行っていく。また、その効果の検討を行うためにアンケート調査を実施する。

アンケート調査：平成28年9月～平成29年8月の間に8回実施する集団健診受診者（平成27年度受診者数1172名）約1200名に対して、既存の問診表に加えて「特定健診・がん検診を受診した理由」等についての項目を追加し、自ら主体的に受診したか、誰かに（それは誰かも含め）勧められて受診したのかを集団健診問診時に聞き取り調査を行う。

アンケート調査を実施することにより、全体の受診者の中で住民同士の勧奨によって受診行動に至った者の割合及び「何となく・わからない」という理由による未受診の者の割合を今後の比較検討の基礎資料とする（今まで受診動機に関する調査結果がないため現時点での比較は不可能）。

- 2) 目標④に対する方法としては、住民が健康に関する正しい知識の習得や自分にあった運動を実践する機関としての健康大学を設立し環境整備を図ることを目指す。その設立にむけて健康推進員協議会を立ち上げ事務局または運営本部として検討を行っていく。

◇活動内容

アンケート調査の結果（平成28年9月と11月実施の集団健診分）

受診者のうちアンケート回答者は合計353人。男性152人、女性201人で女性のほうが多い。年齢別にみると60歳代が最も多く、ついで70歳50歳40歳代であった。健診の受診動機は図1のとおりである。健康推進員の呼びかけが健診受診のきっかけとなった方はほとんどいなかったが、スーパー前での受診啓発用に配布したチラシを見て受診したという方が1名おられた。また、健康推進員を知っていますかという質問には知っている12.2%、聞いたことがある10.2%と約2割の方の反応があった（図2参照）。今後、健康推進員の知名度が高くなるように、健診の受診動機に健康推進員のよびかけがきっかけとなった方の割合が増えていくように活動を継続していきたい。

健康推進員の活動としては、自身が健康について興味関心を持ち、自身を含め家族や知人に適正な健康行動をとることを勧める、例えば健診の受診勧奨や健康に関する講演会や運動教室等に参加する、誘うことが中心である。啓発活動としては、集団健診前に町内の大手スーパー前で健診受診勧奨用のチラシと粗品を配布し、健診の申し込みを受け付けている。また、健康まつりである「ゆあさ愛あいまつり」において健診受診勧奨用のチラシ

活動成果報告書

と粗品の配布を行うとともに大腸がんクイズラリーを実施し、がん検診の重要性について周知を行っている。

それに加えて、集団健診の際には200名以上の町民が会場に集まることになるので大変混雑するのだが、マンパワー不足で煩雑になっていたところ、健康推進員から会場整理を手伝ってはどうかと提案があり今年度より開始している。当町の健康推進員活動の特徴としては、行政からのおしつけでなく健康推進員自らが問題意識を持ち解決に向けて方策を考え実行していることがあげられる。健診の受診勧奨では地区の集会を利用して区の役員にチラシを配布して受診を呼びかけたり、街頭啓発はスーパーが効果的ではないか、自分が健診を受けたとき受付の最後尾がわかりにくかったので案内が必要ではないか等意見を出し合い、自分たちで対応していこうとしている。研修は県が健康推進員の養成講習会を開催するとともに、フォローアップとしてすでに健康推進員として活動する人々を対象に研修会を開催している。加えて町でも研修会を開催し、推進員同士の交流や意見交換の機会としている（表2参照）。

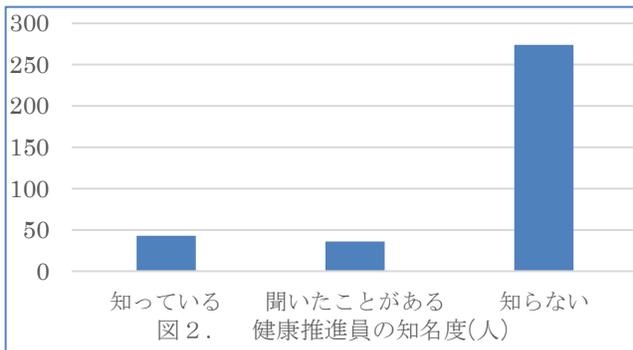
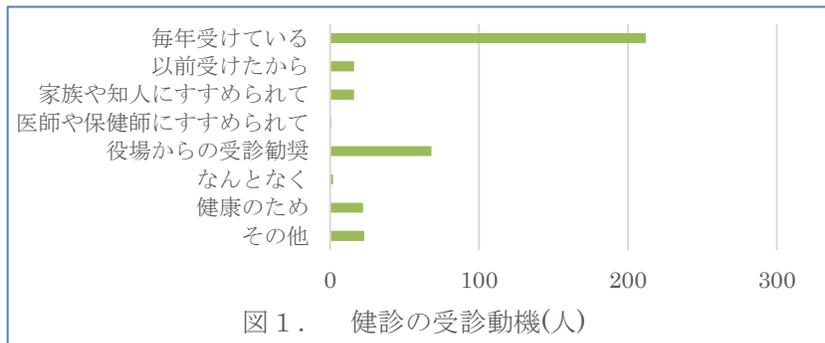


表2. 健康推進員研修会

	内 容	
H27年度	健康づくりについて	県主催
	自分にあった食事量を知ろう!	町主催
H28年度	手軽にできる運動	県主催
	ヨガで健康づくり	町主催

◇今後の活動

健康推進員活動による顔見知りの住民同士の呼びかけを町内で広く展開することにより、健診の周知、受診勧奨はもとより健康に対する住民の意識自体を高揚し、「健康づくりに向けて住民が自ら考え適切な行動をとることができる」という目的の実現につなげていく。また、将来的に健康推進協議会の設置や健康大学の設立にむけて行政内部や住民の合意の形成を図りその際には、各推進員が健康づくりについて将来像を描きながらすすめられるように展開する。現在の健康推進員活動は、各推進員が主体的にどうしたら健診を受けてもらえるかと考えながらアイデアを出してくれる、いきいきとした活動状況であることを生かし、行政のみで完結せず住民による継続した健康づくりを目指し協力体制を整えていきたい。